

第10回東北風景街道協議会 【議事録（要点）】

1. 日時

平成30年12月11日（火）13:30～15:00

2. 場所

東北地方整備局 仙台合同庁舎B棟 13階水災害予報センター

3. 出席者

	志賀 秀一	(株)東北地域環境研究室 代表
	鈴木 紳一	河北新報社 取締役事業局長
会 長	藤崎 三郎助	(一社)東北経済連合会 副会長
代 理	堀 温子	(一社)まちの魅力づくり研究室 代表理事
	松田 悦子	元 日本青年会議所東北地区協議会 会長
	渡辺 敬一郎	(一社)日本自動車連盟東北本部 事務局長
	阿部 悟	東北地方整備局 道路部長
代 理	新井田 浩	青森県 県土整備部 理事
代 理	佐々木 智哉	岩手県 道路建設課 主任
代 理	籠目 勇一	宮城県 道路課 課長
代 理	田森 清美	秋田県 道路課 政策監
代 理	高宮 篤	山形県 道路整備課 副主幹兼課長補佐
代 理	和田 眞	福島県 道路計画課 課長
代 理	大友 幸則	仙台市 道路計画課 課長

4. 議事内容

□審議結果

- ・各県提言説明会の開催（案）について了承された。
- ・表彰制度の導入の方向性（案）について了承された。
- ・案内看板については設置の必要性を含め、今後もあり方を具体的に検討していくこととした。

□主な意見

○東北風景街道の活動について

- ・活動の縮小傾向については、「活動予算不足」、「マンパワー」、「構成員の高齢化」の3つが要因となっていることが想定される。
- ・3つの要因の対策として、来訪者にお金を使ってもらう仕組みを検討する必要がある。
- ・団体の活動を継続するには、地域の魅力を伝える「人」が重要である。
- ・補助金等の申請や手続きを、高齢者にもわかりやすくする必要がある。

○案内看板等の設置について

- ・東北風景街道の活動内容は、イベントや、景勝地など見せる場が中心のものがある。後者なら看板を設置して誘導するのがいいが、前者は難しい。
- ・東北風景街道の認知度を向上させるためであれば、事業ごとのパネル展示や、のぼり旗の設置なども考えられる。
- ・同じフォント、大きさなど統一された案内看板等ではなく、自動車、自転車、歩行者等の移動手段に応じた、きめ細やかな対応が大事である。
- ・「東北」として全体を通した一つのコンセプトとして、まとめなければ意味がない。
- ・ドライバーや同行者が、移動中でも案内板を理解できるような工夫が必要である。
- ・日本風景街道のマークが入った案内看板等を設置することで、様々な方に興味を持って頂きたい。
- ・案内看板等の設置や維持管理にも費用かかる事を踏まえたうえで、設置について議論し結論を出す必要がある。
- ・SNSを利用した案内の仕組みを検討する必要がある。

○その他

- ・本日の協議内容を、他の委員にも意見を伺うこと。